

電波の有効利用促進のための安全な無線LANの利用に
関する普及啓発事業(平成26年度)

公衆無線LAN利用に係る調査結果(概略版)

平成27年3月16日
総務省 情報セキュリティ対策室

調査の概要

項目	日本人	訪日外国人
調査背景	<p>総務省では2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催を見据えて、観光立国を推進する観点から、関係省庁、関係団体とも協力しつつ、公衆無線LANの整備促進に取り組んでいる。公衆無線LANは外出先等で高速な回線を利用できる点で便利である一方、盗聴、なりすましといったセキュリティ上の懸念もあり、正しい知識を持って利用する必要がある。</p> <p>総務省では、我が国の公衆無線LANの安心安全利用の観点から、公衆無線LANに期待される要件や現状の改善点の検討に資するため、訪日外国人及び日本人に対し、公衆無線LANの利用状況や情報セキュリティに係る意識及び対策状況について調査を実施。</p>	
調査方法	Webアンケートによる調査	
調査期間	平成26年11月14日～21日	平成26年11月12日～25日
調査対象	<p><共通条件> 直近1年間に日本(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県)を観光目的で訪れ、かつ自分の端末でインターネット接続をした人(1都3県居住者を除く)</p> <p>①「公衆無線LAN利用の日本人」200人 上記条件を満たしかつ普段スマホ・タブレット端末で、日常的に公衆無線LANを利用している</p> <p>②「自宅利用の日本人」200人 上記条件を満たしかつ普段スマホ・タブレット端末で、自宅のみで無線LANを利用している</p>	<p>上記条件を満たしかつ普段スマホ・タブレット端末で、日常的に公衆無線LANを利用している 「訪日外国人」660人 (アメリカ:214人、イギリス:217人、中国:229人)</p>
調査事項(設問)	・公衆無線LANサービスの利用状況、満足度、利用に当たっての情報収集の有無、公衆無線LAN利用に係る脅威の理解度、情報セキュリティ対策状況、公衆無線LANサービスの改善点、今後利用したい通信手段 等	

<調査結果の表記に係る注意事項>

- ・「公衆無線LAN」は「公衆無線LANサービス」「Wi-Fi」と記載している場合があります。 ・アクセスポイントは「AP」と記載しています。
- ・ユーザIDは「ID」、ログインパスワードは「PW」と記載しています。

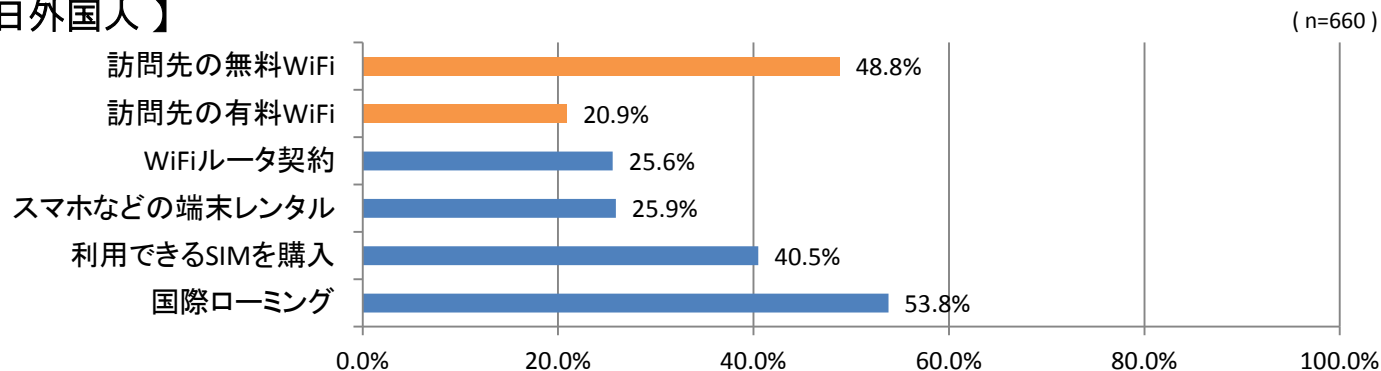
Point 1:

観光先で利用するインターネット接続手段として公衆無線LANが重要な通信手段となっている。

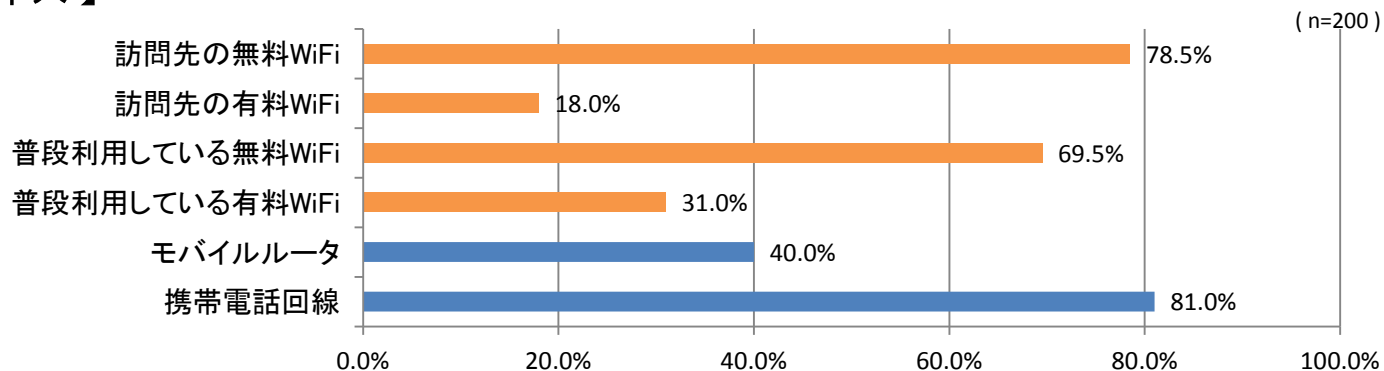
- ▶ 訪日外国人・日本人観光客が観光先で利用するインターネット接続手段として、公衆無線LANは携帯電話回線と並ぶ利用手段ととらえられており、今後も重要な通信手段と考えられる。
- ▶ 公衆無線LANでは無料の利用比率が高い。

■ 観光先で利用するインターネット接続手段について（詳細版1-4、2-4） ※複数回答可

【訪日外国人】



【日本人】



■ LTE等の通信網

■ 公衆無線LAN

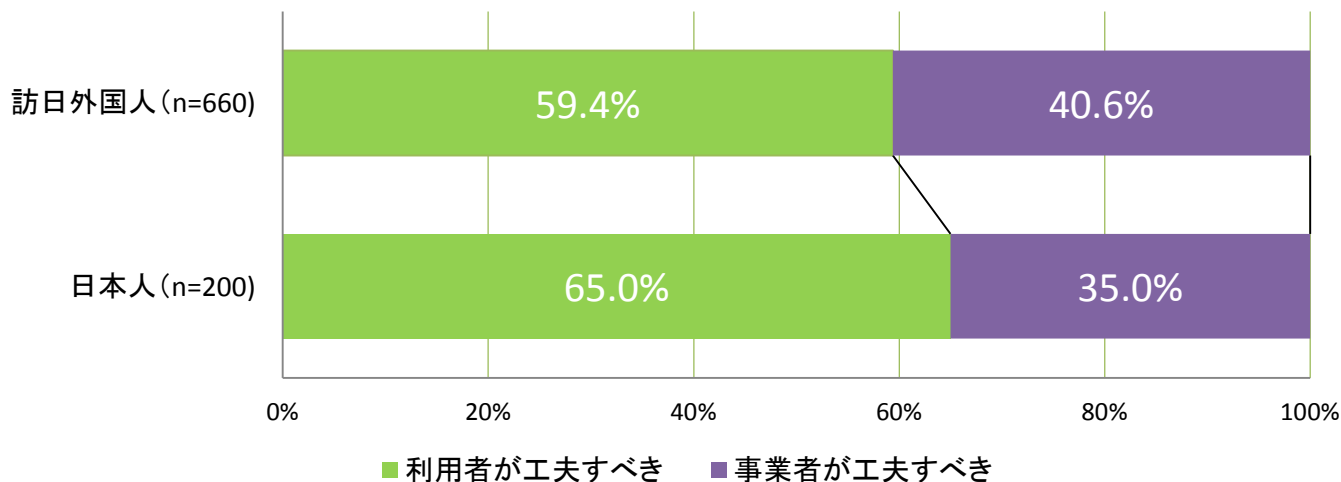
Point 2 :

無料公衆無線LANの情報セキュリティ対策はユーザが行うべきと考えている人が多いが、約4割のユーザは無料でも事業者側が対策すべきと考えている。

■ セキュリティを担保すべき当事者について(詳細版:3-6、3-7)

- ▶ 訪日外国人、日本人観光客を問わず、無料サービスでは利用者であるユーザが情報セキュリティ対策を行うべきという考えが半数以上を占めている。
- ▶ 一方、約4割のユーザが無料サービスにおいても事業者が工夫すべきと考えており、事業者に安全への取組を期待していることがわかる。

【無料Wi-Fiにおけるセキュリティ対策をすべき当事者調査】



Point 3 :

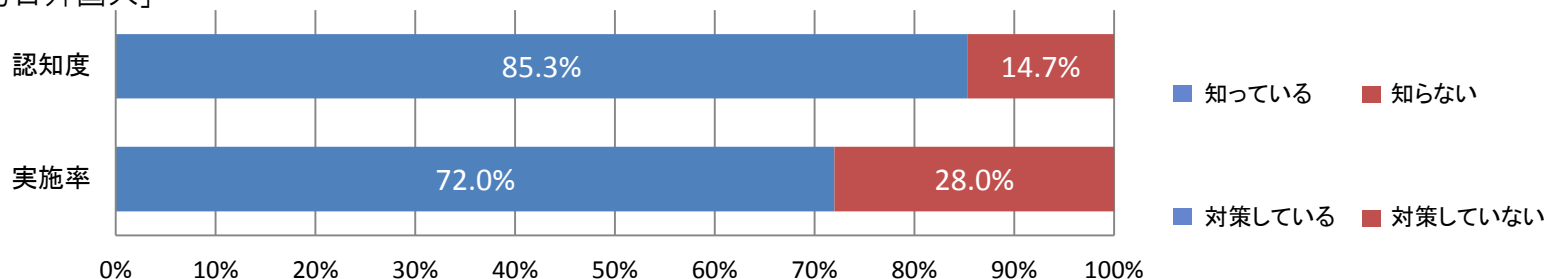
公衆無線LAN利用時の脅威について、一定の認知はされているものの、対策の実施については低い傾向にある。特に日本人についてその傾向が強い。

■ 公衆無線LAN利用時の脅威認知度と対策の実施率（詳細版:3-1、3-2）

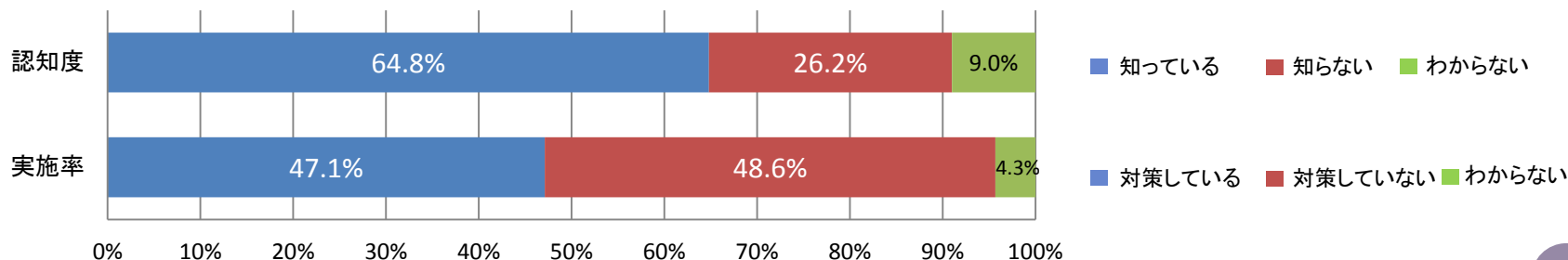
- ▶ 公衆無線LAN利用時の脅威(盗聴/なりすまし/悪意のアクセスポイントやサイトへの接続)について、認知度と対策の実施率を調査した。訪日外国人・日本人観光者ともに認知度にくらべ実施率は大きく低下することがわかった。
- ▶ 特に日本人観光客は、認知度と実施率の乖離が大きく、対策の実施率が5割を切るなど、十分な対策がなされていない実態が明らかになった。

【公衆無線LAN利用時の脅威(盗聴/なりすまし/悪意のアクセスポイントやサイトへの接続)認知度及び実施率】

[訪日外国人]



[日本人]



Point 4 :

公衆無線LAN利用時の具体的なセキュリティ対策について、基本的な対策の実施率が2～3割と著しく低い。

■ 公衆無線LAN利用時における具体的な対策の実施率（詳細版:3-3）

- ▶ 公衆無線LAN利用時の具体的な対策は訪日外国人・日本人とも傾向は比較的類似しているが、多くの項目で日本人の方が実施率が低い。
- ▶ 日本人において、端末のOS等のアップデートは一定程度なされているが、公衆無線LAN利用時の基本的な対策の実施率は2～3割と著しく低いことが明らかとなった。

【公衆無線LAN利用時に実施していた情報セキュリティ対策】

